

平成29年度

景況調査・財務データ報告書

目次

第1章 景況調査	
1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 全産業の景況	2
(2) 各産業の景況	4
第2章 財務データ分析	
1. 調査概要	14
2. 調査結果	15
(1) 売上高と利益の状況	15
(2) 粗利益率の状況	18
(3) 売上高と人件費・減価償却費の状況	19
(4) 従業員数・付加価値額の状況	23
(5) 在庫額の状況	26
第3章 景況調査との比較分析	27

広島安芸商工会
府中町商工会
広島東商工会

第1章 景況調査

1. 調査概要

(1) 調査目的

広島安芸地域の事業所の景気動向を把握し、事業者の持続的な発展や地域経済の活性化を図るための施策検討の資料として活用する。

(2) 調査方法

1) 調査対象

3 商工会地域（広島安芸商工会、府中町商工会、広島東商工会）の事業所 144 社

2) 調査方法

商工会の経営指導員による訪問配布・訪問回収または郵送回収

3) 調査対象期間

平成 29 年 10 月 16 日～11 月 10 日 ※回答の基準は平成 29 年 7 月～9 月を対象とする

4) 有効回収数

75 社（回収率：52.1%）

(3) 回収結果





1) 産業別構成

	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	合計
回収数	8	18	17	2	30	75
構成比(%)	10.7	24.0	22.7	2.7	40.0	

(小数点第2位以下四捨五入)

(4) 報告書の見方

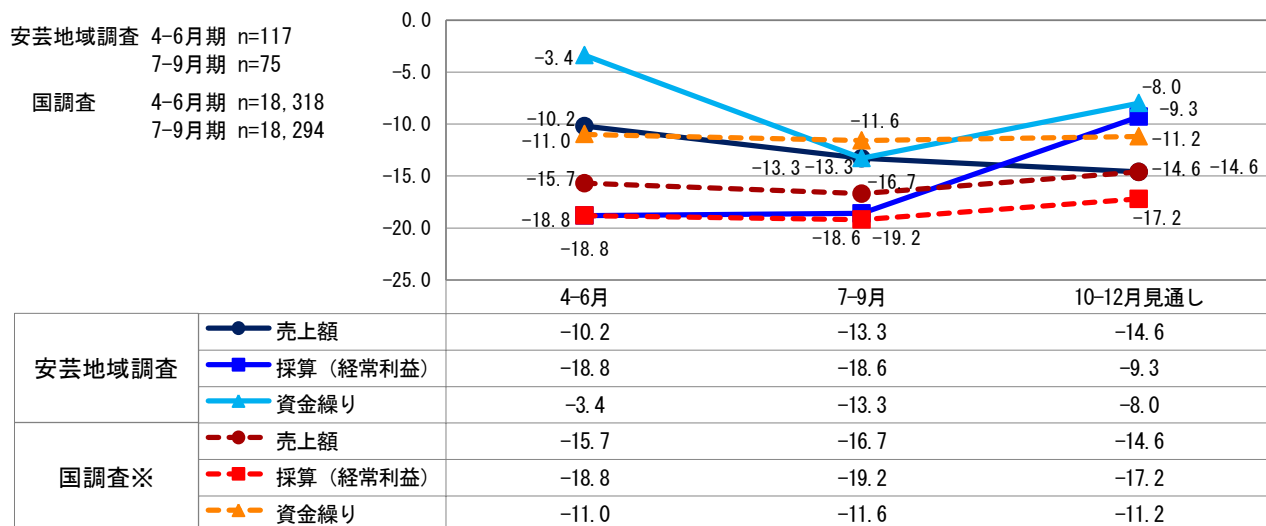
- 1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が 100.0%とならない場合がある。
- 2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- 3) 報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
- 4) 文字数が多い選択肢については、意味を損なわない程度に選択肢を省略しているものがある。
- 5) 図表中の「n」は number of cases の略で、回答者総数または分類別の回答者数を示す。各比率は n を 100%として算出している。
- 6) 報告書中の「DI 値」とあるのは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転、上昇）企業割合から、減少（悪化、低下）企業割合を差し引いた値を示すものである。

天気図の見方					
DI 値	100.0～30.1	30.0～10.1	10.0～-10.0	-10.1～-30.0	-30.1～-100.0
表示					

2. 調査結果

(1) 全産業の景況

【図 全産業の景況感（国調査比較）】



※国調査：中小企業庁 第148回中小企業景況調査(2017年4-6月期)
第149回中小企業景況調査(2017年7-9月期)

①景況感（前年同期比）

安芸地域全産業の景況感は、今期売上額 DI 値が-13.3、前期（-10.2）比で3.1ポイントマイナス幅が拡大している。採算（経常利益）DI 値が-18.6、前期（18.8）比で0.2ポイントマイナス幅が縮小している。資金繰り DI 値が-13.3、前期（-3.4）比で9.9ポイントマイナス幅が拡大している。

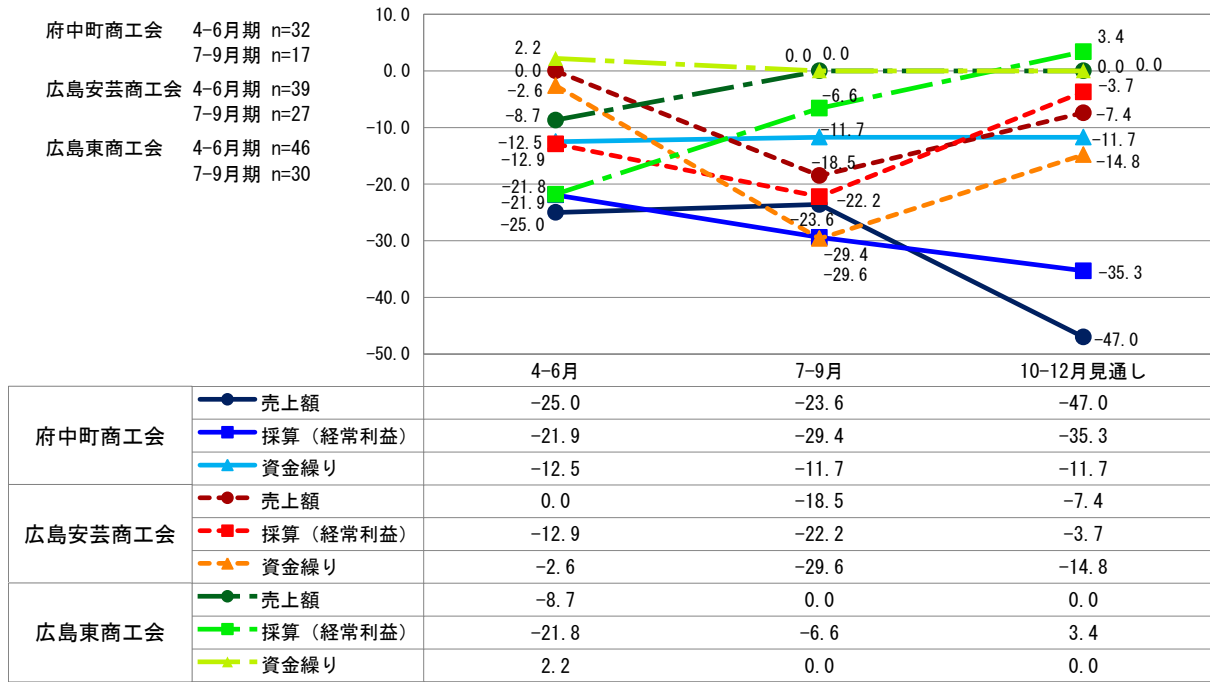
前年同期比の売上額について、半数以上の事業所が「不変」または「減少」と回答している。「増加」と回答している事業所は20社で、全体の26.7%となっているが、採算（経常利益）については「好転」との回答が14社となっており、実際に利益が確保できているのは20%未満となっている状況である。

国調査と比較すると、売上額 DI 値は国調査（-16.7）を3.4ポイント、採算（経常利益）DI 値は国調査（-19.2）を0.6ポイント上回っている。一方、資金繰り DI 値は国調査（-11.6）を1.7ポイント下回っている。

②来期の見通し（前年同期比）

今期と比較すると、採算（経常利益）DI 値は9.3ポイント、資金繰り DI 値は5.3ポイントの改善と見込んでいるが、売上額 DI 値は1.3ポイント悪化する見通しとなっている。

【図 全産業の景況感（3商工会比較）】



①景況感（前年同期比）

府中町商工会の景況感は、今期売上額 DI 値が-23.6、採算（経常利益）DI 値が-29.4、資金繰り DI 値が-11.7 となっている。

広島安芸商工会の景況感は、今期売上額 DI 値が-18.5、採算（経常利益）DI 値が-22.2、資金繰り DI 値が-29.6 となっている。

広島東商工会の景況感は、今期売上額 DI 値が 0.0、採算（経常利益）DI 値が-6.6、資金繰り DI 値が 0.0 となっている。

3商工会を比較すると、売上額 DI 値では、広島東商工会が府中町商工会、広島安芸商工会を上回っているものの 0.0 となっている。

採算（経常利益）DI 値では、全ての商工会で悪化している。

資金繰り DI 値では、広島東商工会が府中町商工会、広島安芸商工会を上回っているものの 0.0 となっている。

②来期の見通し（前年同期比）

府中町商工会では今期の景況感と比較すると、売上額 DI 値は 23.4 ポイント、採算（経常利益）DI 値は 5.9 ポイント悪化する見通しとなっている。

広島安芸商工会では今期の景況感と比較すると、売上額 DI 値は 11.1 ポイント、採算（経常利益）DI 値は 18.5 ポイント、資金繰り DI 値は 14.8 ポイントの改善と見込んでいる。

広島東商工会では今期の景況感と比較すると、採算（経常利益）DI 値は 10.0 ポイントの改善と見込んでいる。












3商工会の来期の見通しを比較すると、売上額 DI 値では、府中町商工会が広島安芸商工会、広島東商工会を大きく下回り-47.0 となっている。

採算（経常利益）DI 値では、広島東商工会が府中町商工会、広島安芸商工会を上回り 3.4 となっている。

資金繰り DI 値では、広島東商工会が府中町商工会、広島安芸商工会を上回っているものの 0.0 となっている。

(2) 各産業の景況

1) 製造業の景況

	今期の景況	来期の見通し	
売上額			 DI 値 +30.1～
採算			 DI 値 +10.1～+30.0
資金繰り			 DI 値 +10.0～-10.0
			 DI 値 -10.1～-30.0
			 DI 値 -30.1～

①景況感（前年同期比）

製造業の景況感は、今期売上（加工）額 DI 値が-25.0、前期（14.3）比で 39.3 ポイントマイナス、資金繰り DI 値が-12.5、前期（-7.1）比で 5.4 ポイントマイナスとなっている。一方、採算（経常利益）DI 値が 0.0、前期（-28.5）比で 28.5 ポイントマイナス値が改善している。

国調査と比較すると、採算（経常利益）DI 値は国調査（-14.8）を 14.8 ポイント上回っている。一方、売上（加工）額 DI 値は国調査（-10.0）を 15.0 ポイント、資金繰り DI 値は国調査（-9.7）を 2.8 ポイント下回っている。

前年同期比の売上（加工）額について「不変」と回答した事業所はなく、「増加」との回答が 3 社、「減少」との回答が 5 社となっており、事業所間で売上額の格差がみられた。

②来期の見通し（前年同期比）

今期と比較すると、売上（加工）額 DI 値、採算（経常利益）DI 値ともに 37.5 ポイントの改善と見込んでいる。

③新規設備投資

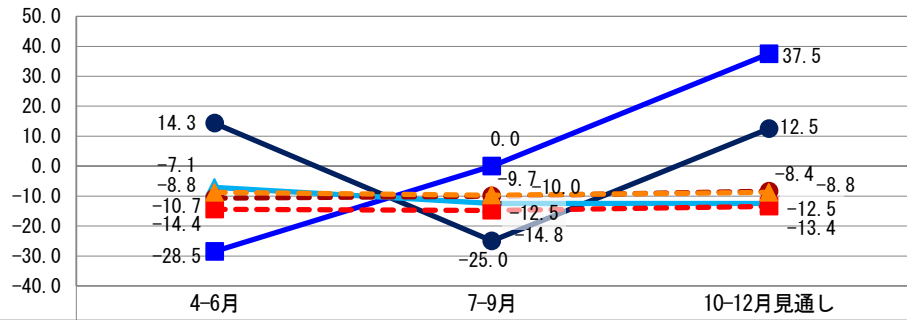
今期は 2 社（25.0%）が実施しており、内訳は「車両・運搬具」（2 社）、「OA 機器」（1 社）となっている。来期設備投資について、2 社（25.0%）が計画しており、内訳は「生産設備」、「車両・運搬具」、「付帯設備」（いずれも 1 社）を予定している。

④経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、「熟練技術者の確保難」、「従業員の確保難」、「原材料価格の上昇」、「需要の停滞」（いずれも 1 社）が 1 番の問題点として挙げられている。問題点の 1 位～3 位をあわせて集計すると、製造業の約 5 割が「熟練技術者の確保難」と回答しており、自由意見でも「生産数が増加しても人材の確保、育成が間に合っていないことが不安である」と、従業員確保についての意見がみられた。また『ものづくり産業を支える企業の労働生産性向上に向けた人材確保・育成に関する調査』（平成 29 年 6 月：独立行政法人 労働政策研究・研修機構）においては、「最近 5 年間のものづくり人材の定着状況」について「定着率が悪くなった」（17.3%）との回答が「定着率がよくなった」（11.2%）との回答を上回っており、製造業では人材の定着についても課題となっている状況が伺える。

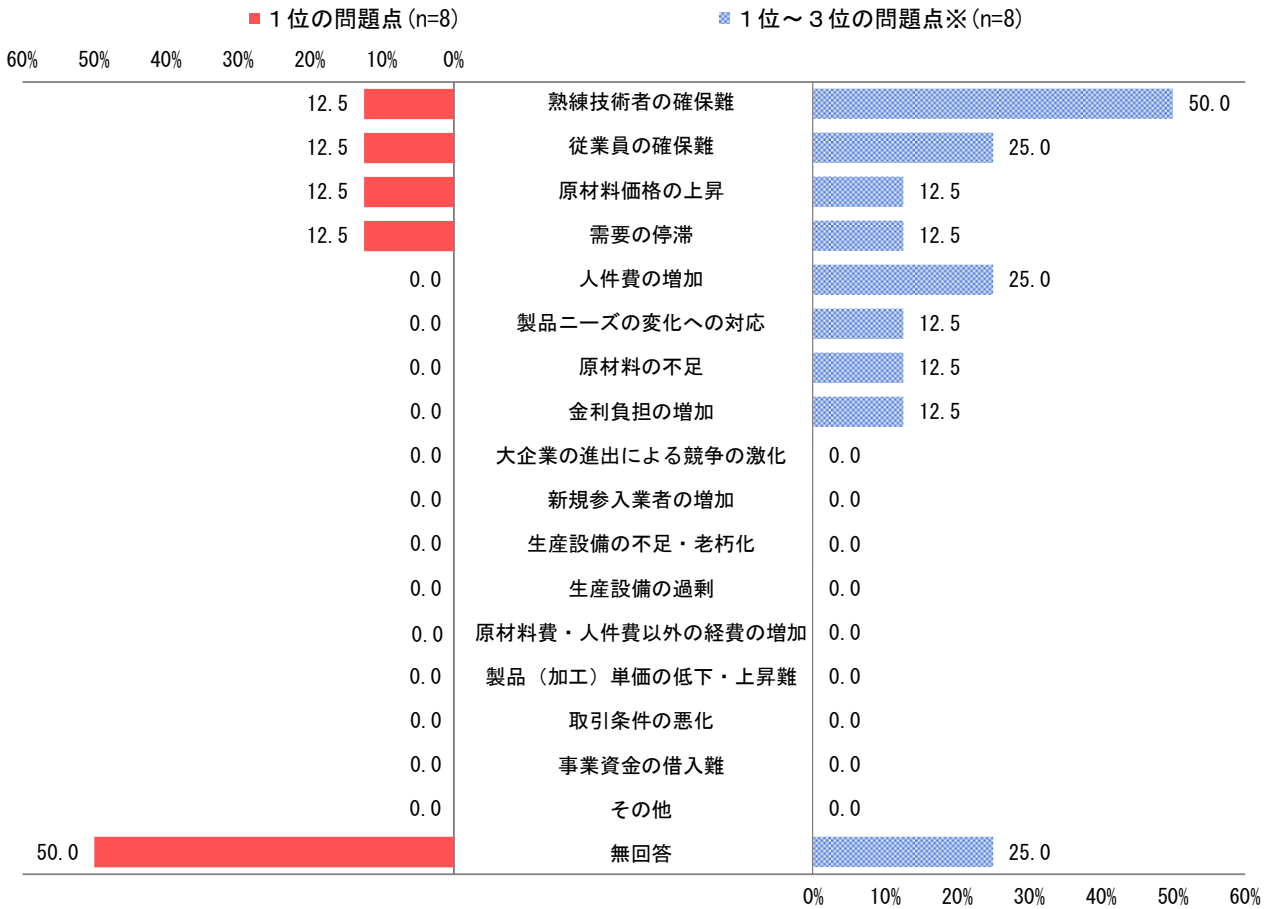
【図 製造業の景況感（国調査比較）】

安芸地域調査 4-6月期 n=14
7-9月期 n=8
国調査 4-6月期 n=4,500
7-9月期 n=4,500














調査	項目	4-6月	7-9月	10-12月見通し
安芸地域調査	売上（加工）額	14.3	-25.0	12.5
	採算（経常利益）	-28.5	0.0	37.5
	資金繰り	-7.1	-12.5	-12.5
国調査	売上（加工）額	-10.7	-10.0	-8.4
	採算（経常利益）	-14.4	-14.8	-13.4
	資金繰り	-8.8	-9.7	-8.8

【図 製造業の経営上の問題点】



※ 1位～3位の回答をあわせて集計

2) 建設業の景況

	今期の景況	来期の見通し	
完成工事額			 DI 値 +30.1～
採算			 DI 値 +10.1～+30.0
資金繰り			 DI 値 +10.0～-10.0
			 DI 値 -10.1～-30.0
			 DI 値 -30.1～

①景況感（前年同期比）

建設業の景況感は、今期完成工事（請負工事）額 DI 値が-16.7、前期（-6.0）比で 10.7 ポイントマイナス幅が拡大、採算（経常利益）DI 値が-22.2、前期（-12.1）比で 10.1 ポイントマイナス幅が拡大、資金繰り DI 値が-27.8、前期（0.0）比で-27.8 ポイントのマイナスとなっている。

国調査と比較すると、完成工事（請負工事）額 DI 値は国調査（-9.7）を 7.0 ポイント、採算（経常利益）DI 値は国調査（-14.6）を 7.6 ポイント、資金繰り DI 値は国調査（-5.2）を 22.6 ポイント下回っている。

②来期の見通し（前年同期比）

今期と比較すると、完成工事（請負工事）額 DI 値は 22.2 ポイント、採算（経常利益）DI 値、資金繰り DI 値は 16.7 ポイントの改善と見込んでいる。

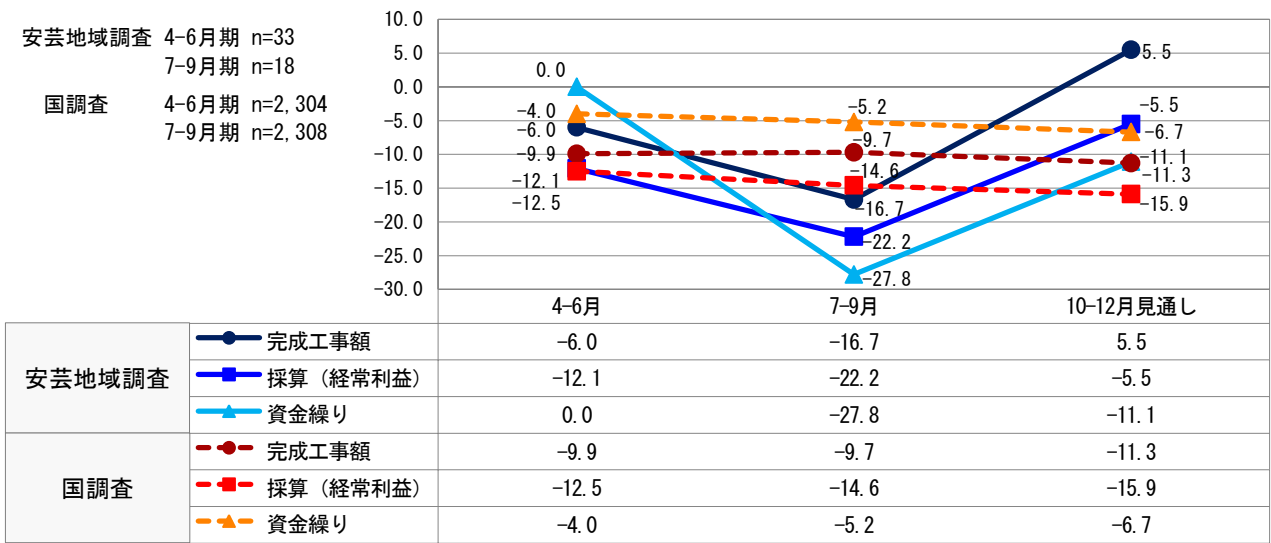
③新規設備投資

今期は 4 社（22.2%）が実施しており、内訳は「建設機械」、「車両・運搬具」（ともに 3 社）、「OA 機器」（1 社）となっている。来期設備投資について、4 社（22.2%）が計画しており、内訳は「建設機械」（3 社）、「建物」（1 社）を予定している。

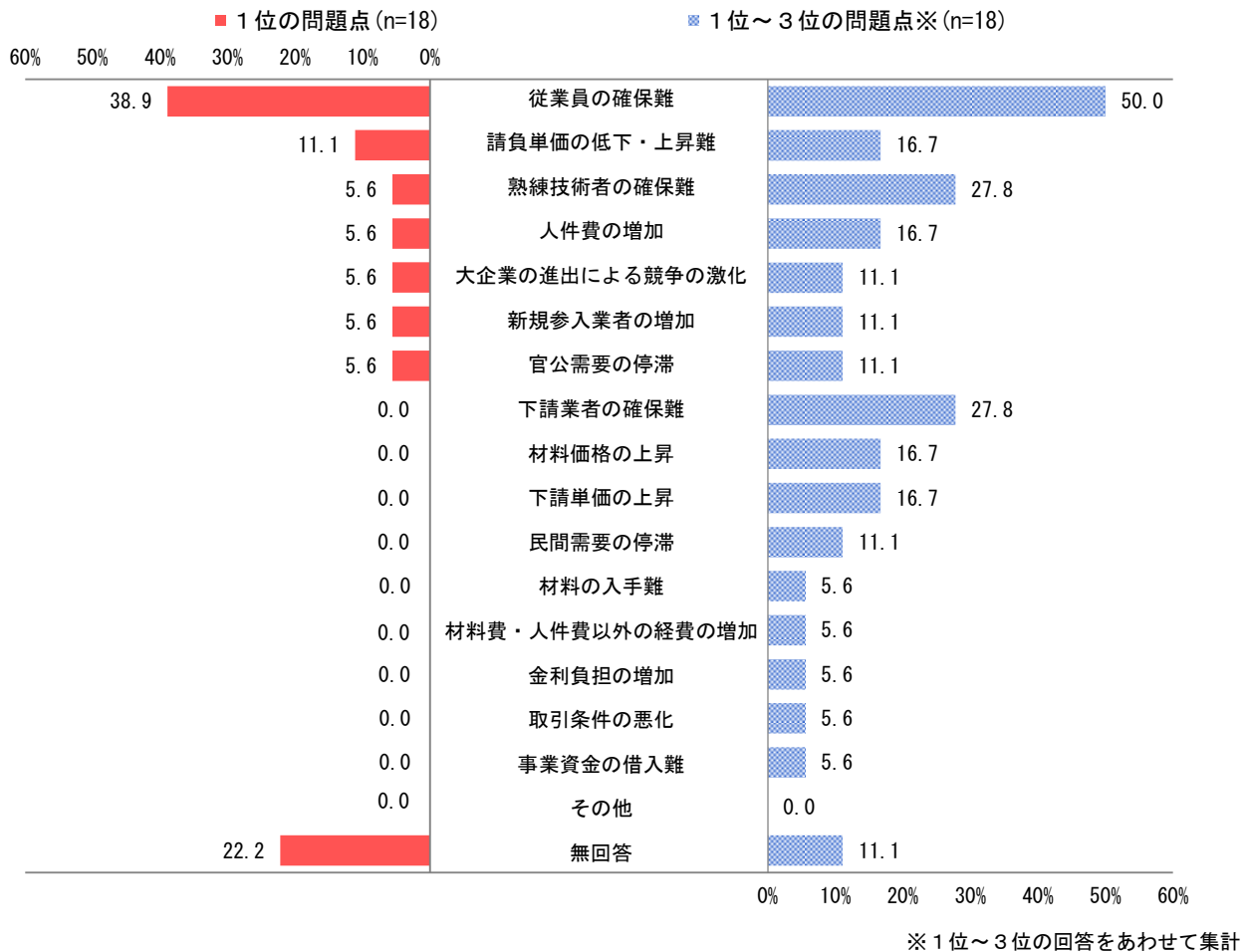
④経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、「従業員の確保難」（7 社）、「請負単価の低下・上昇難」（2 社）などが 1 番の問題点として挙げられている。問題点の 1 位～3 位をあわせて集計すると、建設業の 5 割が「従業員の確保難」と回答している。また自由意見でも、「工事量はあるが、人材不足のため受けきれっていない」との意見があり、受注や引合いについては悪くないと感じているが、第 1 回調査から引き続き慢性的な人手不足が大きな課題となっている。












【図 建設業の景況感（国調査比較）】



【図 建設業の経営上の問題点】



3) 小売業の景況

	今期の景況	来期の見通し	
売上額			 DI 値 +30.1～
採算			 DI 値 +10.1～+30.0
資金繰り			 DI 値 +10.0～-10.0
			 DI 値 -10.1～-30.0
			 DI 値 -30.1～

①景況感（前年同期比）

小売業の景況感は、今期売上額 DI 値が-17.7、前期（-3.7）比で 14.0 ポイントマイナス幅が拡大、採算（経常利益）DI 値が-23.6、前期（-3.7）比で 19.9 ポイントマイナス幅が拡大、資金繰り DI 値が 0.0、前期（14.8）比で 14.8 ポイントマイナスとなっている。第1回調査と比較して、全体的に景況感が悪化している。

国調査と比較すると、売上額 DI 値は国調査（-31.8）を 14.1 ポイント、採算（経常利益）DI 値は国調査（-29.5）を 5.9 ポイント、資金繰り DI 値は国調査（-19.9）を 19.9 ポイント上回っている。

②来期の見通し（前年同期比）

今期と比較すると、売上額 DI 値は 11.7 ポイント、資金繰り DI 値は 5.9 ポイント悪化する見通しとなっている。一方、採算（経常利益）DI 値は 6.0 ポイントの改善と見込んでいる。

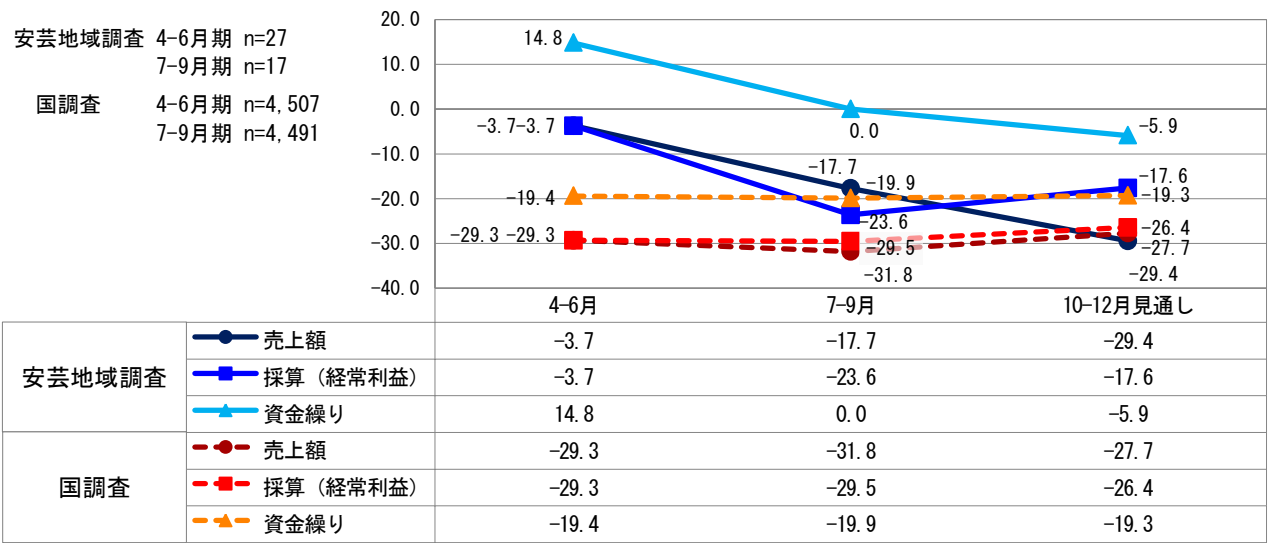
③新規設備投資

今期は 2 社（11.8%）が実施しており、内訳は「付帯施設」、「OA 機器」（ともに 1 社）となっている。来期設備投資について、1 社（5.9%）が計画しており、内訳は「OA 機器」（1 社）を予定している。

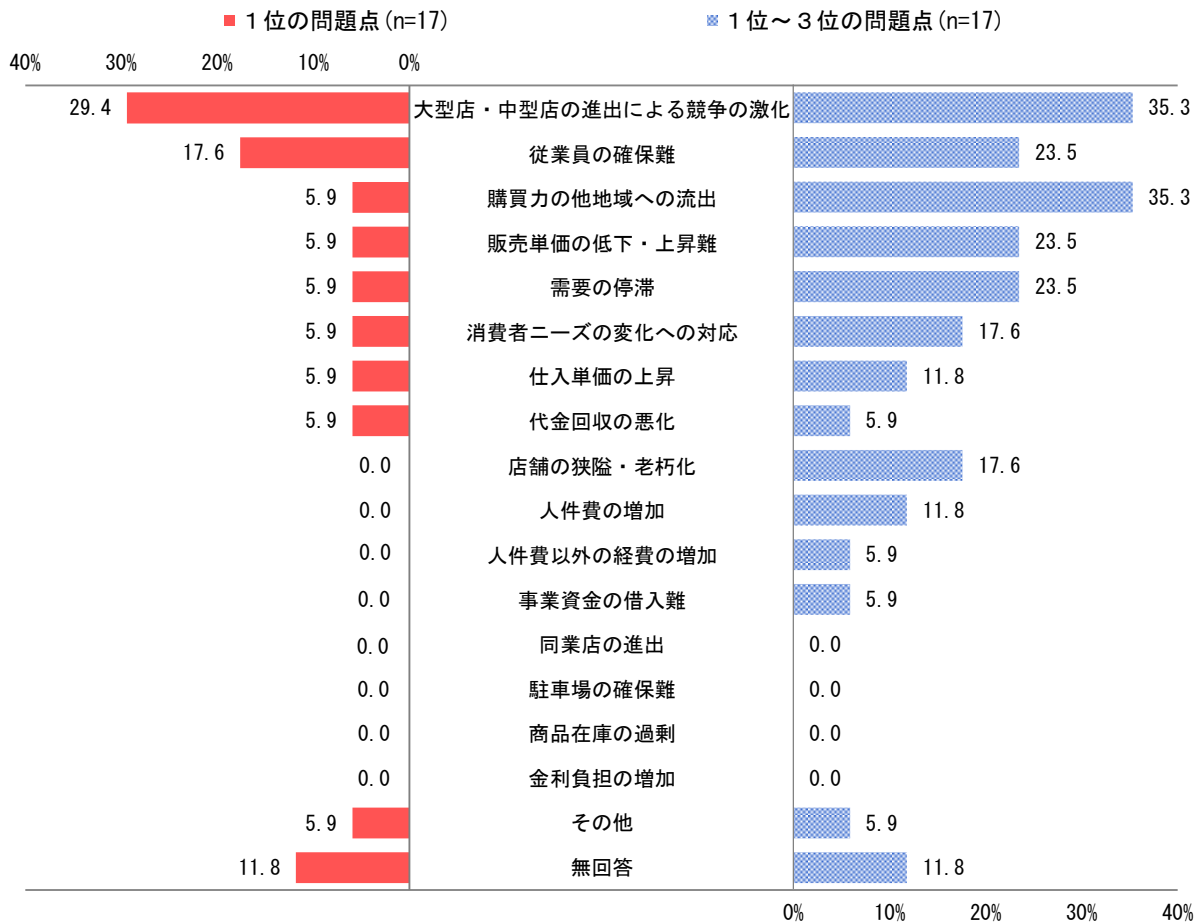
④経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、「大型店・中型店の進出による競争の激化」（5 社）、「従業員の確保難」（3 社）などが 1 番の問題点として挙げられている。問題点の 1 位～3 位をあわせて集計すると、「大型店・中型店の進出による競争の激化」と並んで「購買力の他地域への流出」との回答が上位となっている。調査結果では、客単価・客数の低下・減少の傾向がみられ、自由意見でも「固定客の高齢化が来店数の減少や売り上げの減少につながりつつある」など消費者の減少についての意見がみられる。その中で、「若い方の集客対策を行っている」、「店舗で待つだけでなく、訪問サービスや配達等のサービスを検討している」など、客数増加への対策を行っている事業所もみられる。

【図 小売業の景況感（国調査比較）】














【図 小売業の経営上の問題点】



※ 1位～3位の回答をあわせて集計

4) 卸売業の景況

	今期の景況	来期の見通し	
売上額			 DI 値 +30.1～
採算			 DI 値 +10.1～+30.0
資金繰り			 DI 値 +10.0～-10.0
			 DI 値 -10.1～-30.0
			 DI 値 -30.1～

①景況感（前年同期比）

卸売業の景況感は、今期売上額 DI 値、採算（経常利益）DI 値がともに 100.0 で、前期（ともに -33.4）と比べマイナス値からプラス値へ改善している。また、資金繰り DI 値が 50.0、前期（0.0）比で 50.0 ポイントの改善となっている。

国調査と比較すると、売上額 DI 値は国調査（-18.2）を 81.8 ポイント、採算（経常利益）DI 値は国調査（-14.3）を 85.7 ポイント、資金繰り DI 値は国調査（-4.4）を 45.6 ポイント上回っている。

②来期の見通し（前年同期比）

今期と比較すると、売上額 DI 値は 50.0 ポイント悪化する見通しとなっているものの、景況感は引き続き良い見通しとなっている。

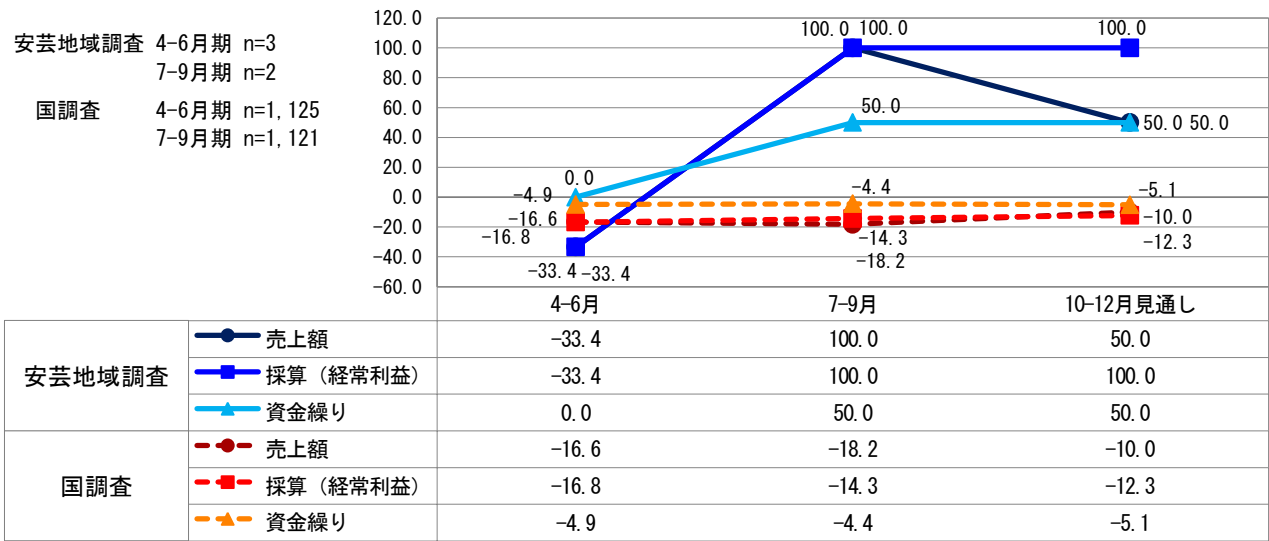
③新規設備投資

今期はいずれの企業も実施していない。来期設備投資について、1社（50.0%）が計画しており、内訳は「店舗」（1社）を予定している。

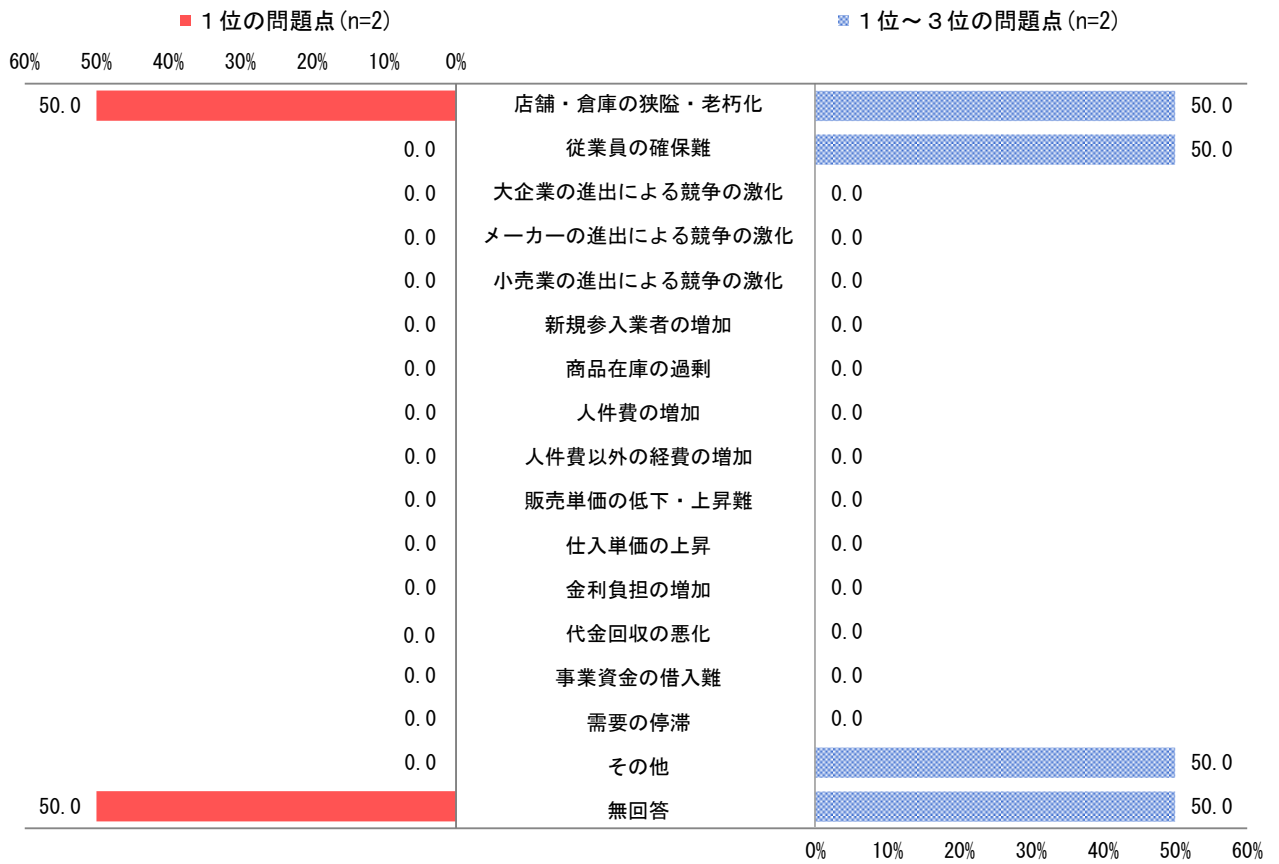
④経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」（1社）が1番の問題点として挙げられている。問題点の1位～3位をあわせて集計すると、「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」と並んで「従業員の確保難」などが挙げられている。

【図 卸売業の景況感（国調査比較）】














【図 卸売業の経営上の問題点】



※ 1位～3位の回答をあわせて集計

5) サービス業の景況

	今期の景況	来期の見通し	
売上額			 DI 値 +30.1～  DI 値 +10.1～+30.0
採算			 DI 値 +10.0～-10.0
資金繰り			 DI 値 -10.1～-30.0  DI 値 -30.1～

①景況感（前年同期比）

サービス業の景況感は、今期売上（収入）額DI 値が-13.3、前期（-25.0）比で11.7ポイントマイナス幅が縮小、採算（経常利益）DI 値が-26.7、前期（-30.0）比で3.3ポイントマイナス幅が縮小、資金繰りDI 値が-16.6、前期（-17.5）比で0.9ポイントマイナス幅が縮小している。

国調査と比較すると、売上（収入）額DI 値は国調査（-12.4）を0.9ポイント、採算（経常利益）DI 値は国調査（-17.2）を9.5ポイント、資金繰りDI 値は国調査（-10.8）を5.8ポイント下回っている。

②来期の見通し（前年同期比）

今期と比較すると、売上（収入）額DI 値は16.7ポイント悪化する見通しとなっている。一方、資金繰りDI 値は6.6ポイントの改善と見込んでいるものの、引き続きマイナス値の見通しとなっている。

③新規設備投資

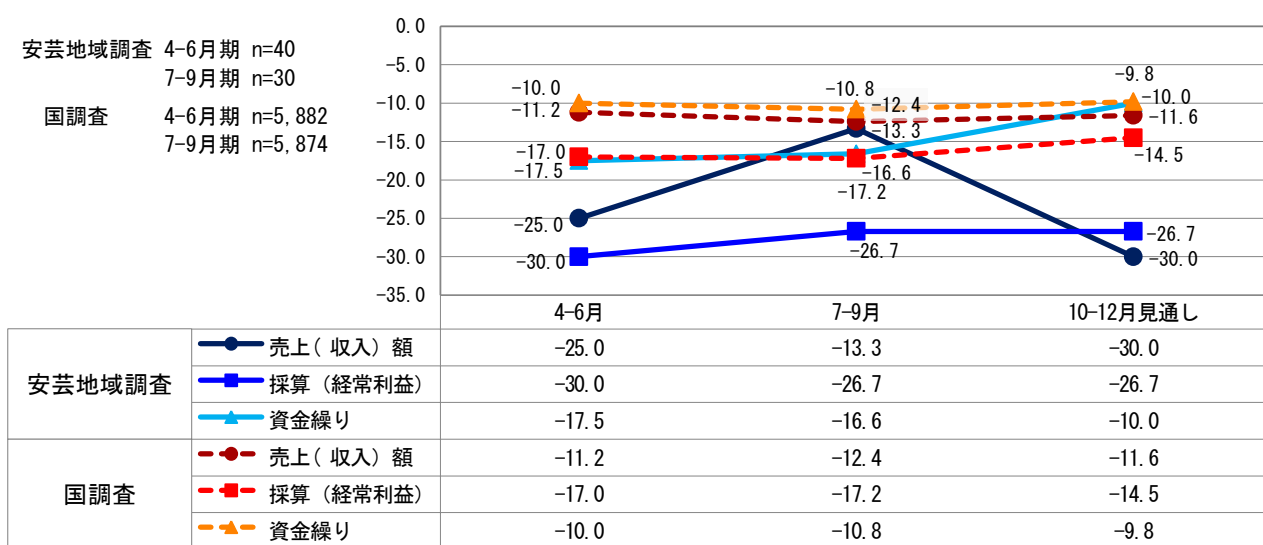
今期は4社（13.3%）が実施しており、内訳は「サービス設備」（2社）、「付帯施設」（1社）などとなっている。来期設備投資について、7社（23.3%）が計画しており、内訳は「サービス設備」（4社）、「建物」、「付帯施設」（ともに2社）、「土地」、「福利厚生施設」（ともに1社）を予定している。

④経営上の問題点

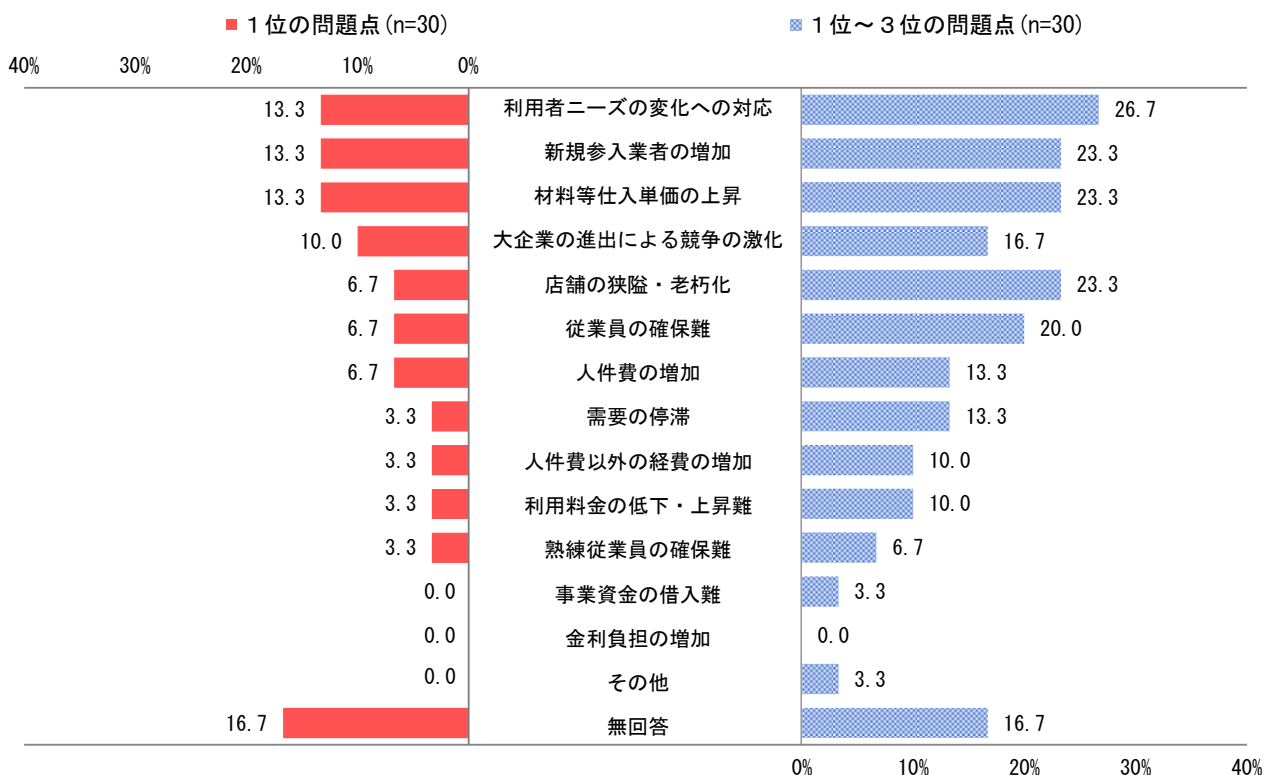
今期直面している経営上の問題点は、「利用者ニーズの変化への対応」、「新規参入業者の増加」、「材料等仕入単価の上昇」（いずれも4社）、「大企業の進出による競争の激化」（3社）などが1番の問題点として挙げられており、外部環境の変化が経営に大きく影響している状況である。

また調査結果では、客単価の低下や利用客数の減少がみられ、自由意見でも「利用客の高齢化による来店数の減少」、「利用客数の減少」などについて言及した意見が多くみられた。

【図 サービス業の景況感（国調査比較）】



【図 サービス業の経営上の問題点（国調査比較）】



※ 1位～3位の回答をあわせて集計

第2章 財務データ分析

1. 調査概要

(1) 調査目的

広島安芸地域の小規模事業者の持続的な発展を推進するため、経営実態・売上・採算等を把握する。

(2) 調査方法

1) 調査対象

3 商工会地域（広島安芸商工会、府中町商工会、広島東商工会）の事業所

(3) 回収結果

1) 産業別構成

		製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他	無回答	合計
平成	回収数	35	196	141	12	485	251	2	1,122
27年度	構成比(%)	3.1	17.5	12.6	1.1	43.2	22.4	0.2	
平成	回収数	37	212	135	8	490	246	1	1,129
28年度	構成比(%)	3.3	18.8	12	0.7	43.4	21.8	0.1	

(小数点第2位以下四捨五入)

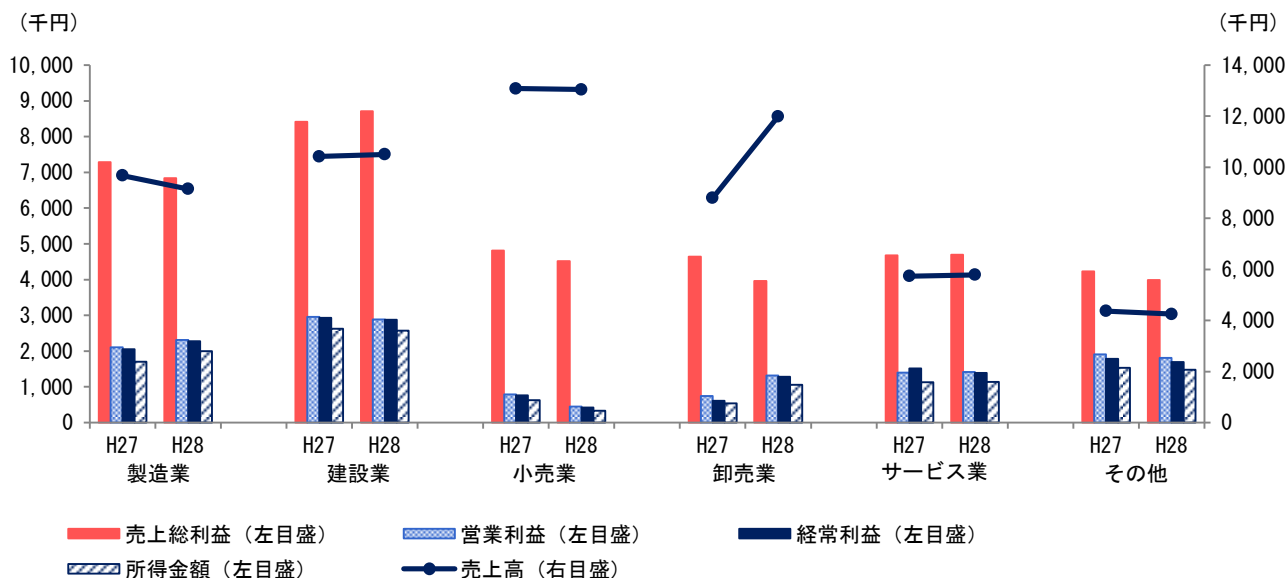
(4) 報告書の見方

- 1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は一企業当たりの平均の計算値で掲載している。
- 2) 本文及び図中に示した調査結果の数値は桁数の関係で、表中の値で計算する場合と平成27年度比が一致しない場合がある。

2. 調査結果

(1) 売上高と利益の状況

【図表 売上高と利益の状況（業種別）】



業種	年度	売上高 (千円)	売上総利益 (千円)	営業利益 (千円)	経常利益 (千円)	所得金額 (千円)
製造業	H27	9,675	7,283	2,106	2,052	1,705
	H28	9,145	6,833	2,315	2,272	1,998
建設業	H27	10,420	8,414	2,957	2,934	2,625
	H28	10,502	8,707	2,888	2,876	2,569
小売業	H27	13,079	4,809	789	764	629
	H28	13,046	4,518	449	420	330
卸売業	H27	8,796	4,644	748	607	540
	H28	11,992	3,962	1,321	1,282	1,054
サービス業	H27	5,735	4,674	1,400	1,511	1,134
	H28	5,789	4,693	1,416	1,387	1,135
その他	H27	4,371	4,232	1,912	1,780	1,531
	H28	4,249	3,985	1,815	1,694	1,480

全産業平均の利益の状況について、平成28年度の売上高は7,355,004円（平成27年度比0.5%増）、売上総利益は5,332,485円（同0.3%増）、営業利益は1,692,523円（同1.7%減）、経常利益は1,645,979円（同4.9%減）、所得金額は1,410,927円（同1.3%減）となっている。

業種別にみると、小売業は営業利益、経常利益、所得金額が大きく減少している。卸売業は売上高、営業利益、経常利益、所得金額が大きく増加しているが、売上総利益は減少している。また、小売業は売上高に対して利益が低い。

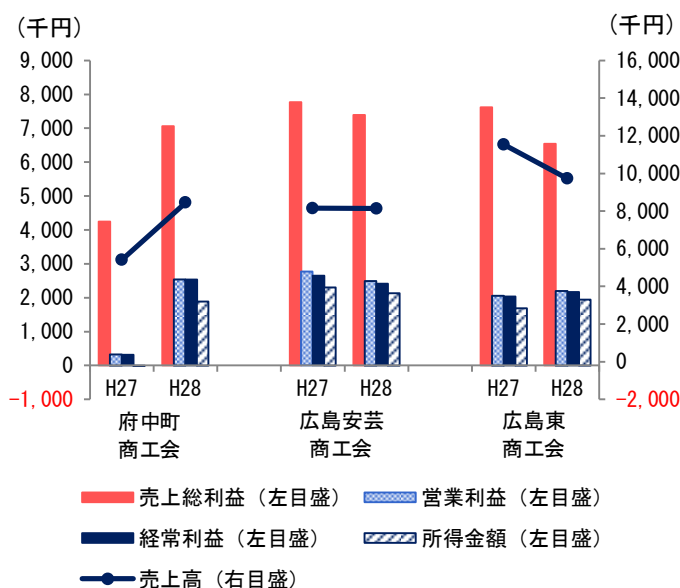
※卸売業について、平成27年度の売上高、営業利益、経常利益、所得金額が著しく低い企業が1社あるため、平成28年度が大きく増加しています。その1社をのぞいて集計した場合、増加・減少率は低くなりますが、売上高、営業利益、経常利益、所得金額が増加、売上総利益は減少しています。

1) 商工会別 売上高と利益の状況

①製造業の状況

※府中町商工会について、平成27年度の売上高、営業利益、経常利益、所得金額が著しく低い企業が1社あるため、平成28年度が大きく増加しています。

【図表 製造業の売上高と利益の状況（商工会別）】

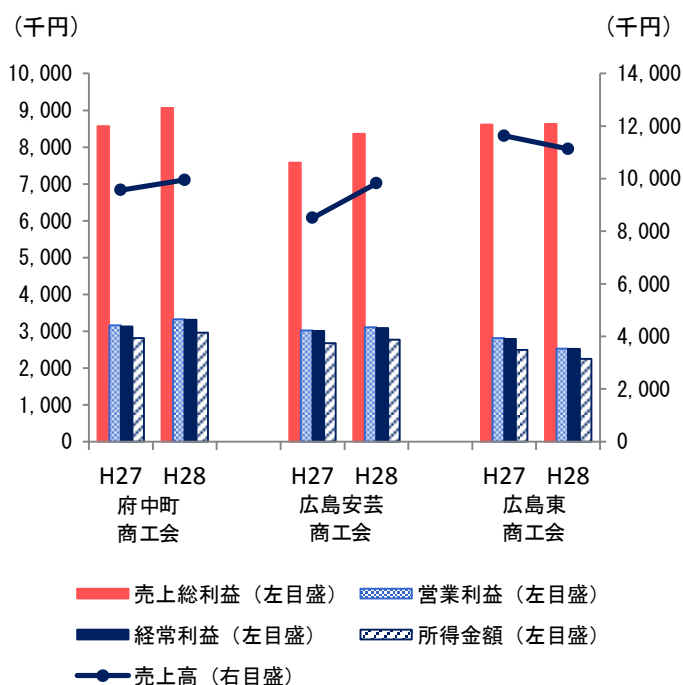


商工会	年度	売上高 (千円)	売上総利益 (千円)	営業利益 (千円)	経常利益 (千円)	所得金額 (千円)
府中町商工会	H27	5,411	4,244	332	316	-9
	H28	8,452	7,056	2,534	2,534	1,884
広島安芸商工会	H27	8,149	7,773	2,770	2,652	2,302
	H28	8,131	7,387	2,493	2,415	2,136
広島東商工会	H27	11,536	7,614	2,061	2,039	1,688
	H28	9,721	6,539	2,202	2,170	1,946

製造業の売上高と利益の状況を商工会別にみると、府中町商工会ではすべての項目において平成27年度比で増加しているが、広島安芸商工会ではすべての項目において減少している。広島東商工会では営業利益、経常利益、所得金額は増加しているが、売上高、売上総利益は減少している。

②建設業の状況

【図表 建設業の売上高と利益の状況（商工会別）】

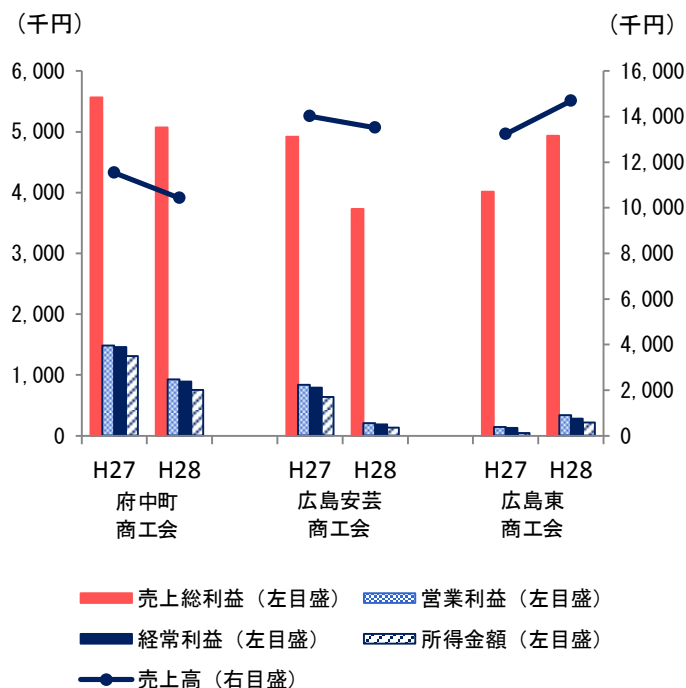


商工会	年度	売上高 (千円)	売上総利益 (千円)	営業利益 (千円)	経常利益 (千円)	所得金額 (千円)
府中町商工会	H27	9,565	8,570	3,162	3,124	2,814
	H28	9,950	9,068	3,327	3,313	2,959
広島安芸商工会	H27	8,505	7,583	3,020	3,006	2,669
	H28	9,823	8,358	3,107	3,084	2,765
広島東商工会	H27	11,632	8,609	2,807	2,789	2,491
	H28	11,129	8,631	2,526	2,520	2,247

建設業の売上高と利益の状況を商工会別にみると、府中町商工会、広島安芸商工会ではすべての項目において平成27年度比で増加している。また、広島東商工会では売上総利益は増加しているが、売上高、営業利益、経常利益、所得金額は減少している。

③小売業の状況

【図表 小売業の売上高と利益の状況（商工会別）】

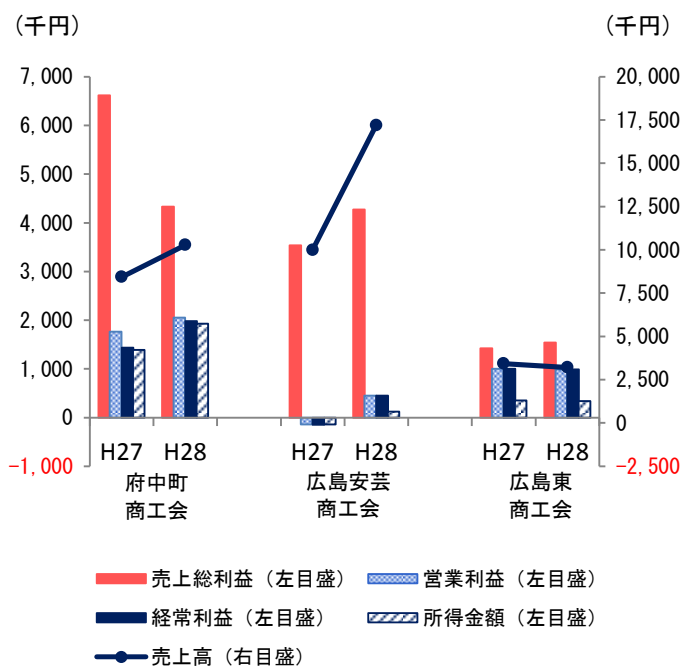


商工会	年度	売上高 (千円)	売上総利益 (千円)	営業利益 (千円)	経常利益 (千円)	所得金額 (千円)
府中町 商工会	H27	11,533	5,564	1,479	1,457	1,307
	H28	10,427	5,073	922	894	746
広島安芸 商工会	H27	14,019	4,920	833	791	630
	H28	13,512	3,729	203	186	127
広島東 商工会	H27	13,229	4,013	136	129	39
	H28	14,693	4,934	330	284	209

小売業の売上高と利益の状況を商工会別にみると、広島東商工会ではすべての項目において平成27年度比で増加しているが、府中町商工会、広島安芸商工会ではすべての項目において減少している。

④卸売業の状況

【図表 卸売業の売上高と利益の状況（商工会別）】

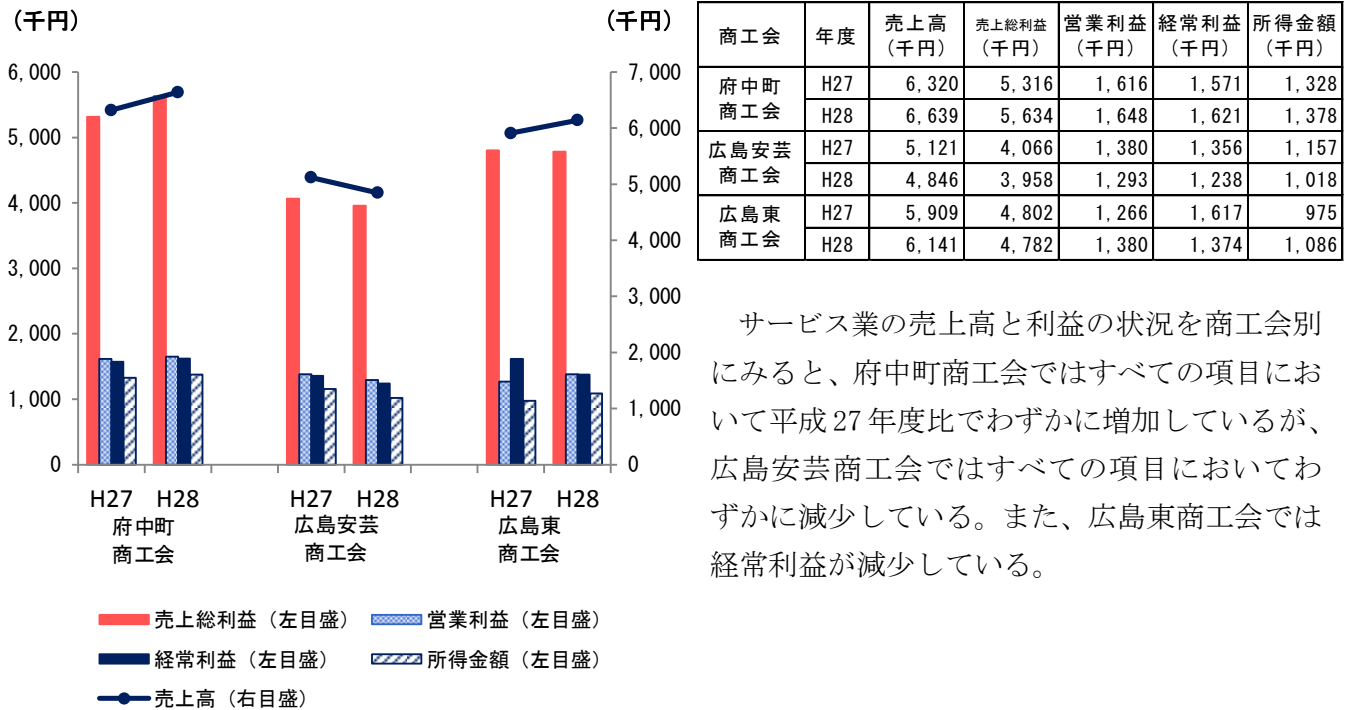


商工会	年度	売上高 (千円)	売上総利益 (千円)	営業利益 (千円)	経常利益 (千円)	所得金額 (千円)
府中町 商工会	H27	8,433	6,615	1,764	1,434	1,394
	H28	10,281	4,334	2,057	1,980	1,930
広島安芸 商工会	H27	9,993	3,539	-140	-148	-140
	H28	17,203	4,272	449	449	124
広島東 商工会	H27	3,430	1,425	1,001	1,001	351
	H28	3,208	1,537	992	992	342

卸売業の売上高と利益の状況を商工会別にみると、広島安芸商工会ではすべての項目において平成27年度比で増加しているが、府中町商工会では売上総利益が減少している。また、広島東商工会では売上高、営業利益、経常利益、所得金額がわずかに減少している。

⑤ サービス業の状況

【図表 サービス業の売上高と利益の状況（商工会別）】



(2) 粗利益率の状況

【図表 粗利益率の状況】

業種		年度	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他
全産業		H27	79.4	89.5	39.4	56.4	87.7	98.2
		H28	82.2	89.9	38.9	39.3	87.2	97.4
商工会別	府中町 商工会	H27	64.2	93.0	53.0	63.2	89.1	98.5
		H28	90.2	94.5	54.7	39.7	88.2	98.5
	広島安芸 商工会	H27	93.4	91.9	36.9	53.3	87.0	97.5
		H28	88.6	90.2	32.8	35.9	87.1	99.3
	広島東 商工会	H27	73.7	86.5	30.8	41.5	87.3	98.4
		H28	78.0	87.0	32.6	47.9	86.6	96.5

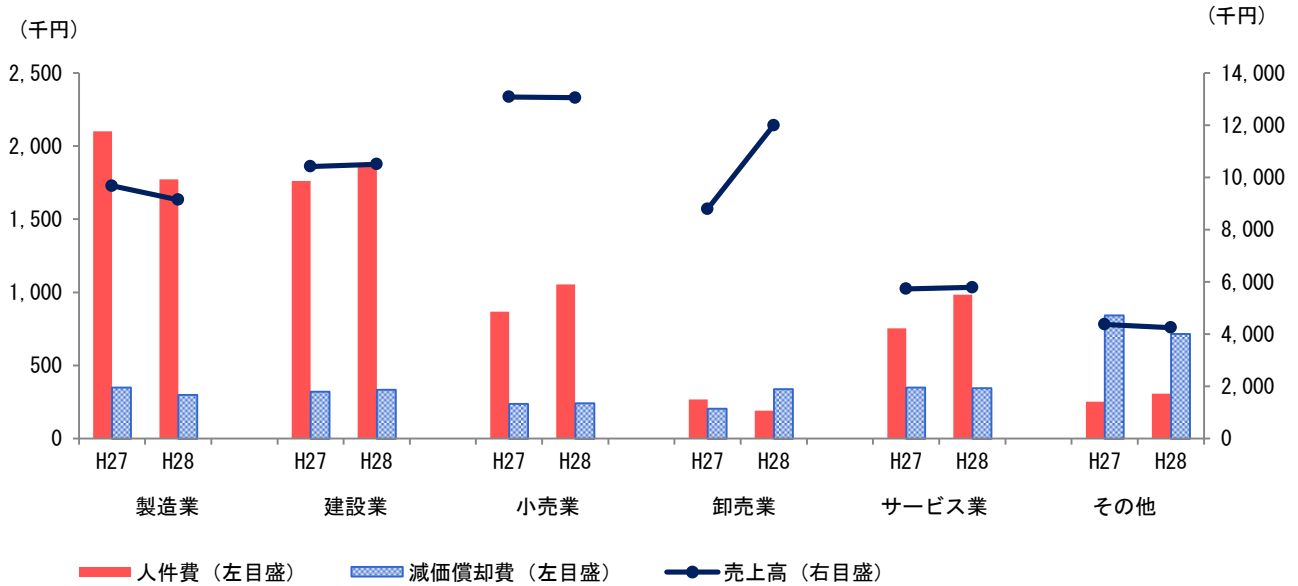
全産業平均の粗利益率の状況について、平成28年度の粗利益率は83.7%（平成27年度と同比率）となっている。

業種別にみると、製造業と建設業は粗利益率が平成27年度比でやや上昇しているが、卸売業は大きく低下している。また、小売業、卸売業は他の業種と比較して粗利益率が低い。

商工会別にみると、製造業の粗利益率は府中町商工会、広島東商工会では上昇しているが、広島安芸商工会では低下している。建設業は府中町商工会、広島東商工会ではわずかに上昇しているが、広島安芸商工会ではわずかに低下している。小売業は府中町商工会、広島東商工会ではわずかに上昇しているが、広島安芸商工会ではわずかに低下している。卸売業は府中町商工会、広島安芸商工会では低下しているが、広島東商工会ではわずかに上昇している。サービス業は府中町商工会、広島東商工会ではわずかに低下しているが、広島安芸商工会ではわずかに上昇している。

(3) 売上高と人件費・減価償却費の状況

【図表 売上高と人件費・減価償却費の状況（業種別）】



【図表 売上高と人件費・減価償却費の状況（業種別）】

全産業平均の売上高と人件費・減価償却費の状況について、平成28年度の人件費は1026,481円（同18.2%増）、減価償却費は415,376円（同5.8%減）となっている。

業種別にみると、小売業とサービス業は人件費が増加している。卸売業は減価償却費が大きく増加しているが、人件費は減少している。また、人件費は製造業、建設業が高く、1人あたりの人件費も製造業、建設業が高い。一方、卸売業は製造業、建設業と比較して人件費が低くなっている。

業種	年度	売上高 (千円)	人件費 (千円)	減価償却費 (千円)
製造業	H27	9,675	2,101	352
	H28	9,145	1,772	302
建設業	H27	10,420	1,761	323
	H28	10,502	1,865	336
小売業	H27	13,079	869	242
	H28	13,046	1,053	244
卸売業	H27	8,796	268	207
	H28	11,992	191	342
サービス業	H27	5,735	754	351
	H28	5,789	983	348
その他	H27	4,371	254	845
	H28	4,249	308	718

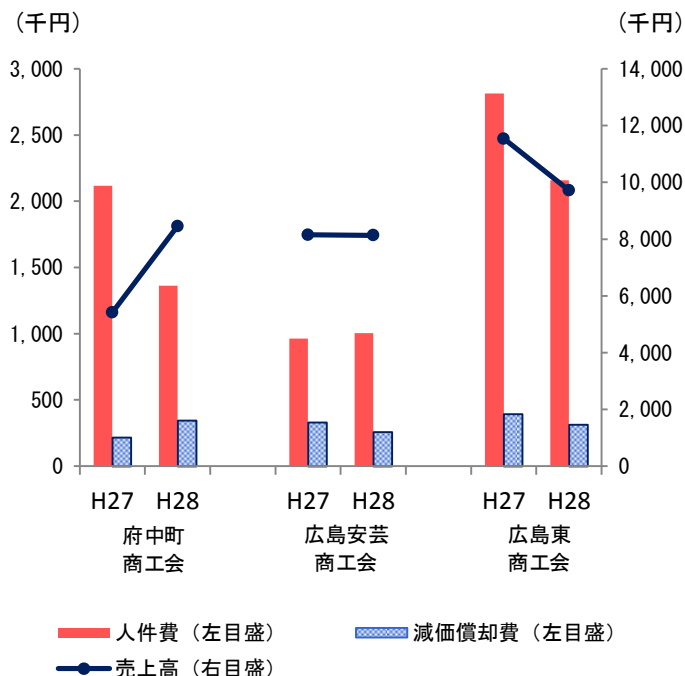
【図表 従業員数・人件費・1人あたり人件費の状況（業種別）】

業種	年度	従業員数 (人)	人件費 (千円)	1人あたり人件費 (千円)
製造業	H27	0.9	2,101	2,235
	H28	0.8	1,772	2,363
建設業	H27	1.1	1,761	1,615
	H28	0.7	1,865	2,664
小売業	H27	0.9	869	924
	H28	1.1	1,053	975
卸売業	H27	0.4	268	608
	H28	0.5	191	381
サービス業	H27	1.0	754	754
	H28	0.9	983	1,057
その他	H27	0.2	254	1,057
	H28	0.2	308	1,283

1) 商工会別 売上高と人件費・減価償却費の状況

①製造業の状況

【図表 製造業の売上高と人件費・減価償却費の状況（商工会別）】

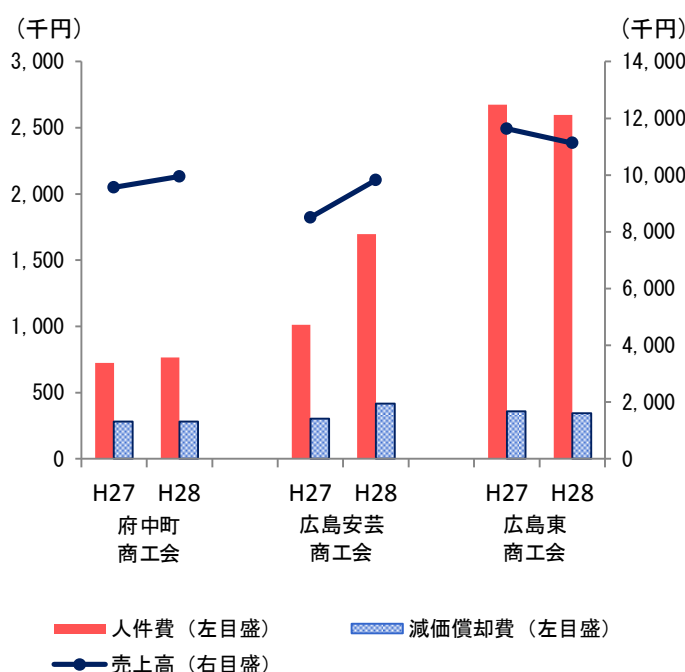


商工会	年度	売上高 (円)	人件費 (円)	減価償却費 (円)
府中町商工会	H27	5,411,240	2,118,358	217,598
	H28	8,452,300	1,362,249	347,032
広島安芸商工会	H27	8,148,761	963,636	330,529
	H28	8,131,035	1,004,608	259,658
広島東商工会	H27	11,535,869	2,814,978	393,713
	H28	9,720,934	2,159,371	313,934

製造業の売上高と人件費・減価償却費の状況を商工会別にみると、府中町商工会では減価償却費が平成27年度比で増加しているが、人件費は減少している。広島安芸商工会では減価償却費が減少しており、広島東商工会ではすべての項目において減少している。3商工会を比較すると、広島安芸商工会では人件費が低い。

②建設業の状況

【図表 建設業の売上高と人件費・減価償却費の状況（商工会別）】

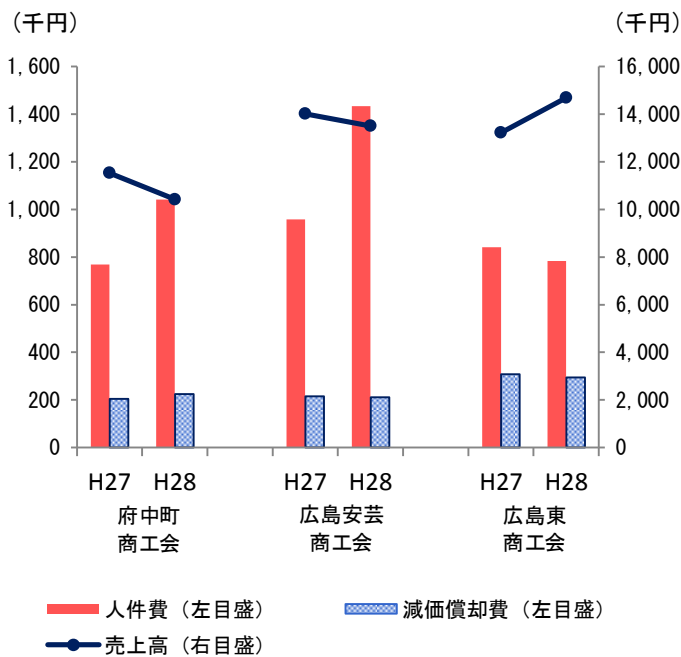


商工会	年度	売上高 (千円)	人件費 (千円)	減価償却費 (千円)
府中町商工会	H27	9,565	724	280
	H28	9,950	766	282
広島安芸商工会	H27	8,505	1,012	302
	H28	9,823	1,696	416
広島東商工会	H27	11,632	2,675	357
	H28	11,129	2,598	343

建設業の売上高と人件費・減価償却費の状況を商工会別にみると、広島安芸商工会ではすべての項目において平成27年度比で増加している。3商工会を比較すると、広島東商工会では人件費が高い。

③小売業の状況

【図表 小売業の売上高と人件費・減価償却費の状況（商工会別）】

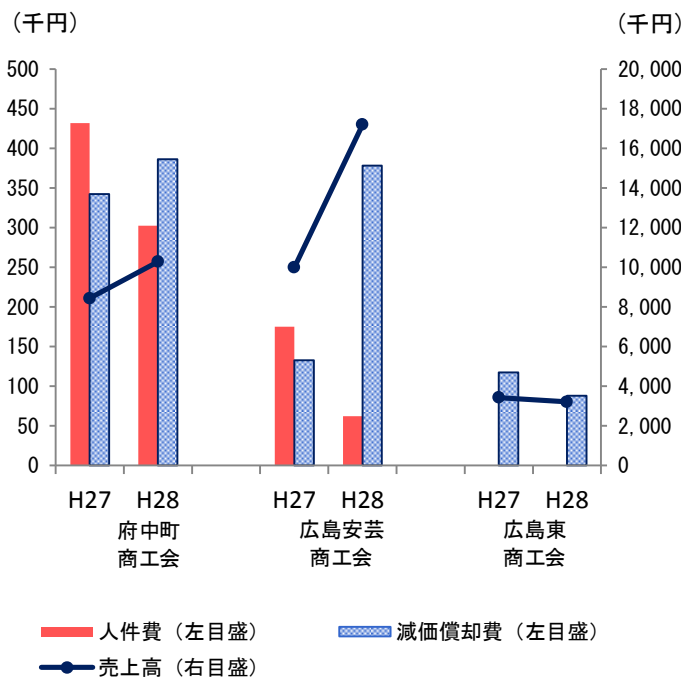


商工会	年度	売上高 (千円)	人件費 (千円)	減価償却費 (千円)
府中町商工会	H27	11,533	769	204
	H28	10,427	1,042	224
広島安芸商工会	H27	14,019	958	214
	H28	13,512	1,433	210
広島東商工会	H27	13,229	841	307
	H28	14,693	784	295

小売業の売上高と人件費・減価償却費の状況を商工会別にみると、府中町商工会、広島安芸商工会では人件費が平成27年度比で増加している。

④卸売業の状況

【図表 卸売業の売上高と人件費・減価償却費の状況（商工会別）】

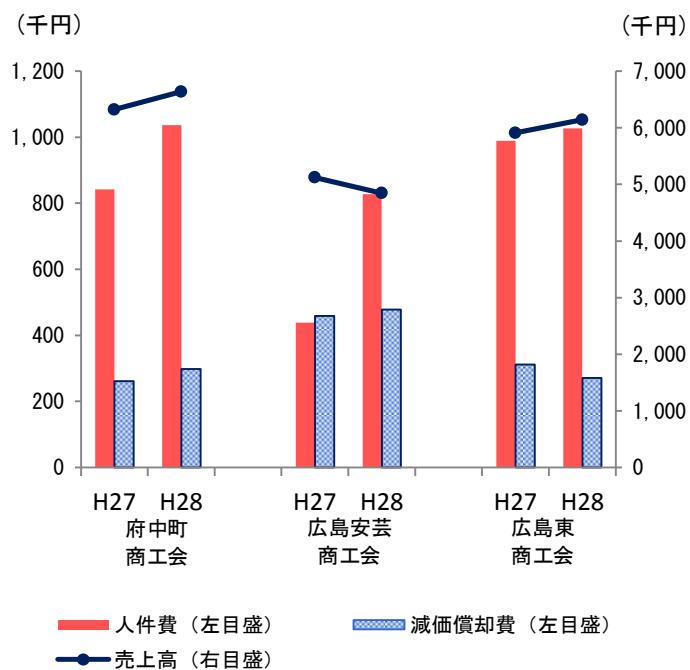


商工会	年度	売上高 (千円)	人件費 (千円)	減価償却費 (千円)
府中町商工会	H27	8,433	432	342
	H28	10,281	303	386
広島安芸商工会	H27	9,993	175	133
	H28	17,203	62	378
広島東商工会	H27	3,430	0	118
	H28	3,208	0	88

卸売業の売上高と人件費・減価償却費の状況を商工会別にみると、府中町商工会、安芸商工会では減価償却費が平成27年度比で増加しているが、人件費は減少している。また、広島東商工会では減価償却費が減少している。

⑤サービス業の状況

【図表 サービス業の売上高と人件費・減価償却費の状況（商工会別）】

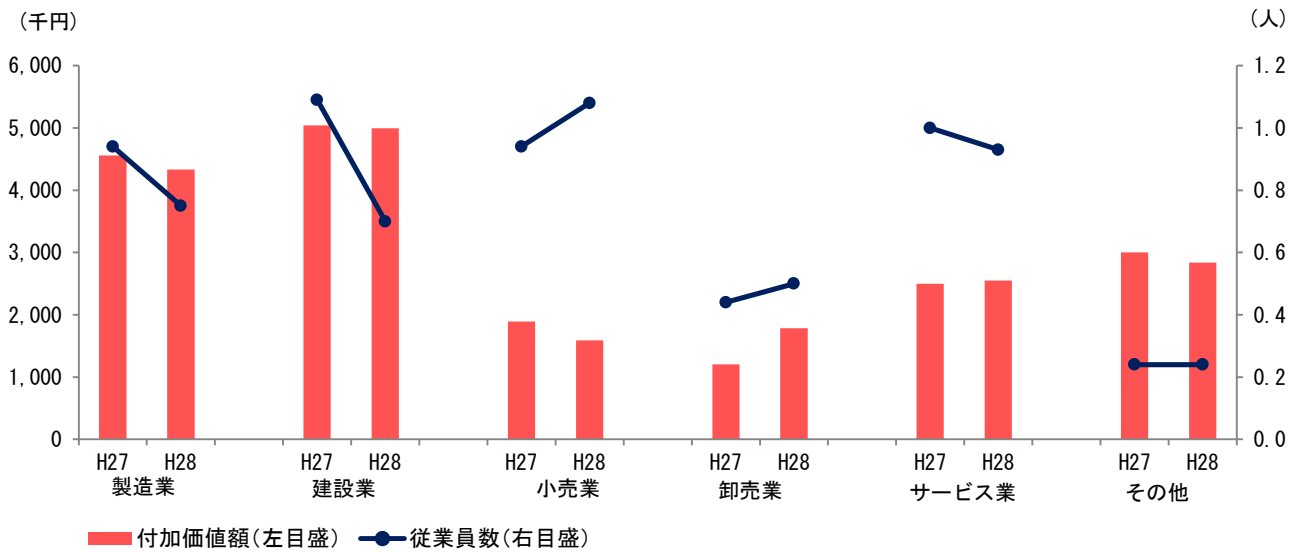


商工会	年度	売上高 (千円)	人件費 (千円)	減価償却費 (千円)
府中町商工会	H27	6,320	842	261
	H28	6,639	1,037	298
広島安芸商工会	H27	5,121	439	459
	H28	4,846	827	479
広島東商工会	H27	5,909	990	312
	H28	6,141	1,027	271

サービス業の売上高と人件費・減価償却費の状況を商工会別にみると、府中町商工会では人件費、減価償却費が平成27年度比で増加しているが、広島安芸商工会では人件費が増加している。また、広島東商工会では減価償却費がやや減少している。

(4) 従業員数・付加価値額の状況

【図表 従業員数・付加価値額の状況（業種別）】



全産業平均の従業員数・付加価値額の状況について、従業員数は 0.7 人（同 12.5%減）、付加価値額は 3,009,713 円（同 0.5%円減）となっている。

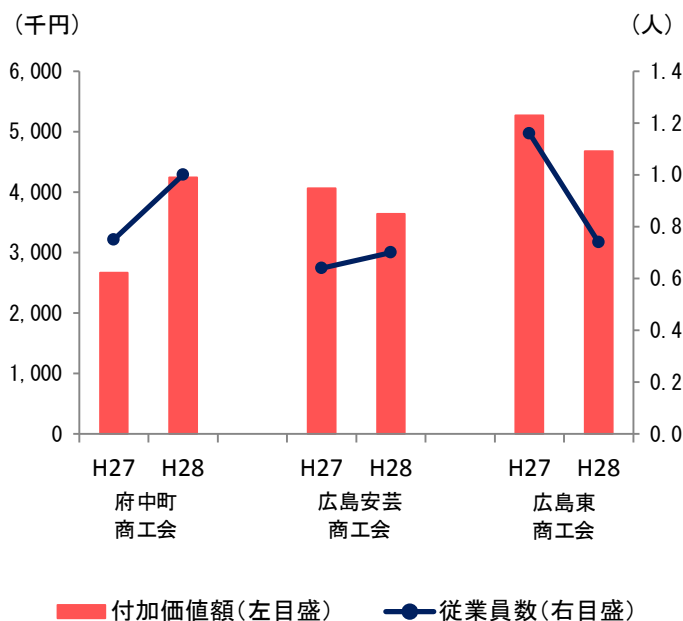
業種別にみると、製造業、建設業は従業員数、付加価値額ともに減少している。一方、卸売業は従業員数、付加価値額ともに増加している。また、小売業、サービス業は従業員数に対して付加価値額が低い。

業種	年度	従業員数 (人)	付加価値額 (千円)
製造業	H27	0.9	4,559
	H28	0.8	4,333
建設業	H27	1.1	5,041
	H28	0.7	4,994
小売業	H27	0.9	1,890
	H28	1.1	1,591
卸売業	H27	0.4	1,206
	H28	0.5	1,786
サービス業	H27	1.0	2,499
	H28	0.9	2,550
その他	H27	0.2	3,003
	H28	0.2	2,838

1) 商工会別 従業員数と付加価値額の状況

①製造業の状況

【図表 製造業の従業員数と付加価値額の状況（商工会別）】

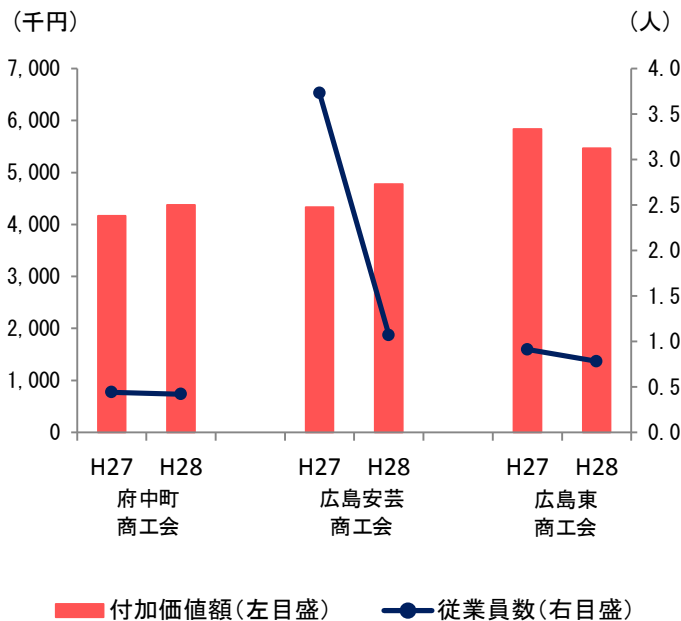


商工会	年度	従業員数 (人)	付加価値額 (千円)
府中町商工会	H27	0.8	2,668
	H28	1.0	4,244
広島安芸商工会	H27	0.6	4,064
	H28	0.7	3,642
広島東商工会	H27	1.2	5,269
	H28	0.7	4,675

製造業の付加価値額の状況を商工会別にみると、府中町商工会では平成 27 年度比で増加しているが、広島安芸商工会、広島東商工会ではわずかに減少している。

②建設業の状況

【図表 建設業の従業員数と付加価値額の状況（商工会別）】

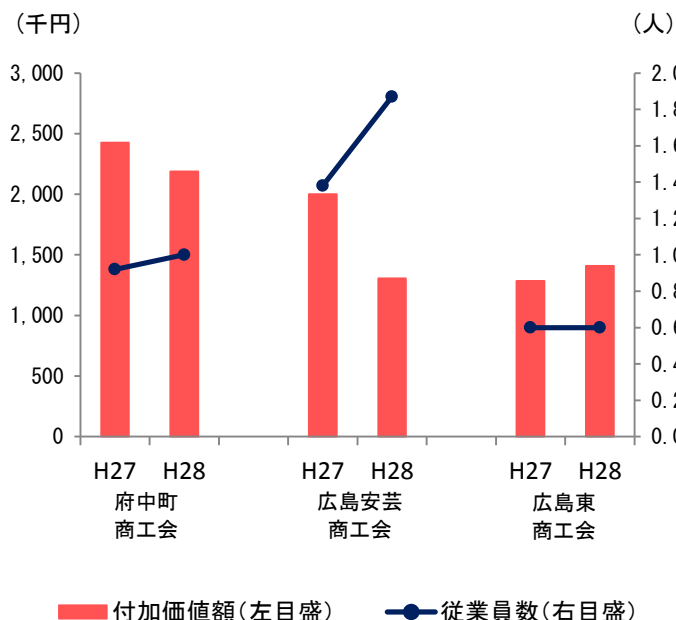


商工会	年度	従業員数 (人)	付加価値額 (千円)
府中町商工会	H27	0.4	4,167
	H28	0.4	4,375
広島安芸商工会	H27	3.7	4,334
	H28	1.1	4,778
広島東商工会	H27	0.9	5,838
	H28	0.8	5,467

建設業の付加価値額の状況を商工会別に見ると、府中町商工会と広島安芸商工会では平成 27 年度比でわずかに増加しているが、広島東商工会ではわずかに減少している。

③小売業の状況

【図表 小売業の従業員数と付加価値額の状況（商工会別）】

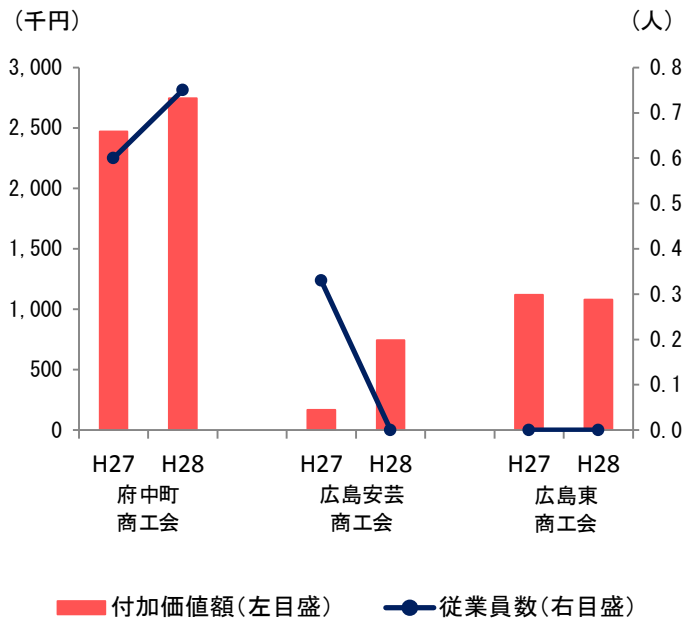


商工会	年度	従業員数 (人)	付加価値額 (千円)
府中町商工会	H27	0.9	2,427
	H28	1.0	2,188
広島安芸商工会	H27	1.4	2,001
	H28	1.9	1,307
広島東商工会	H27	0.6	1,283
	H28	0.6	1,408

小売業の付加価値額の状況を商工会別に見ると、広島安芸商工会では平成 27 年度比で減少している。広島東商工会ではわずかに増加している。

④卸売業の状況

【図表 卸売業の従業員数と付加価値額の状況（商工会別）】

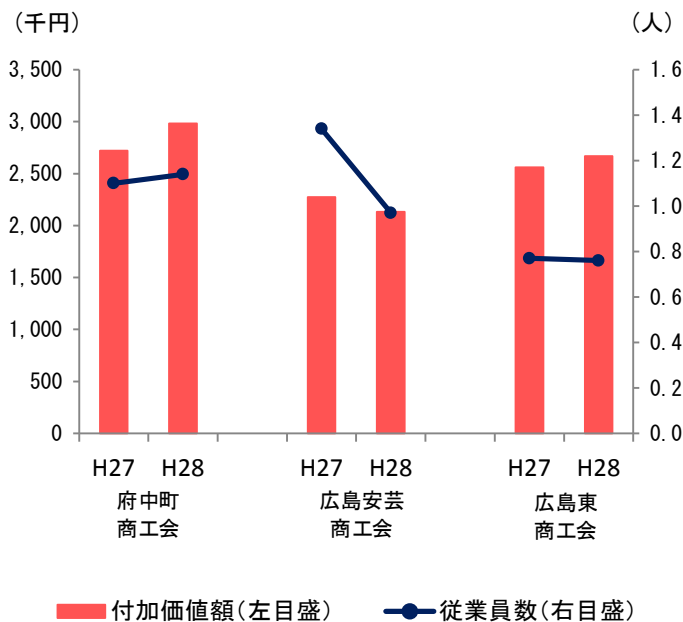


商工会	年度	従業員数 (人)	付加価値額 (千円)
府中町商工会	H27	0.6	2,470
	H28	0.8	2,746
広島安芸商工会	H27	0.3	167
	H28	0.0	743
広島東商工会	H27	0.0	1,119
	H28	0.0	1,080

卸売業の付加価値額の状況を商工会別にみると、広島安芸商工会では平成27年度比で増加している。

⑤サービス業の状況

【図表 サービス業の従業員数と付加価値額の状況（商工会別）】



商工会	年度	従業員数 (人)	付加価値額 (千円)
府中町商工会	H27	1.1	2,719
	H28	1.1	2,983
広島安芸商工会	H27	1.3	2,273
	H28	1.0	2,133
広島東商工会	H27	0.8	2,559
	H28	0.8	2,668

サービス業の付加価値額の状況を商工会別にみると、府中町商工会、広島東商工会では平成27年度比でわずかに増加しているが、広島安芸商工会ではわずかに減少している。

※在庫0円を含めて集計
したほうがよろしけれ
ばお知らせください

(5) 在庫額の状況

【図表 在庫額の状況】

業種		年度	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他
全産業		H27	728	4,972	1,511	5,439	318	1,824
		H28	537	5,953	1,501	1,307	368	1,606
商 工 会 別	府中町 商工会	H27	185	101	1,105	343	169	0
		H28	82	65	1,202	314	159	0
	広島安芸 商工会	H27	1,083	125	955	10,535	495	0
		H28	524	201	1,238	3,294	456	0
	広島東 商工会	H27	653	9,385	2,386	0	273	1,824
		H28	616	13,406	1,986	0	405	1,606

(千円)

※在庫0円を除いて集計

全産業平均の在庫額の状況について、平成28年度の在庫額は1,124,846円（平成27年度比0.6%減）となっている。

業種別にみると、製造業と卸売業は在庫額が平成27年度比で大きく減少している。一方、サービス業は在庫額が大きく増加している。

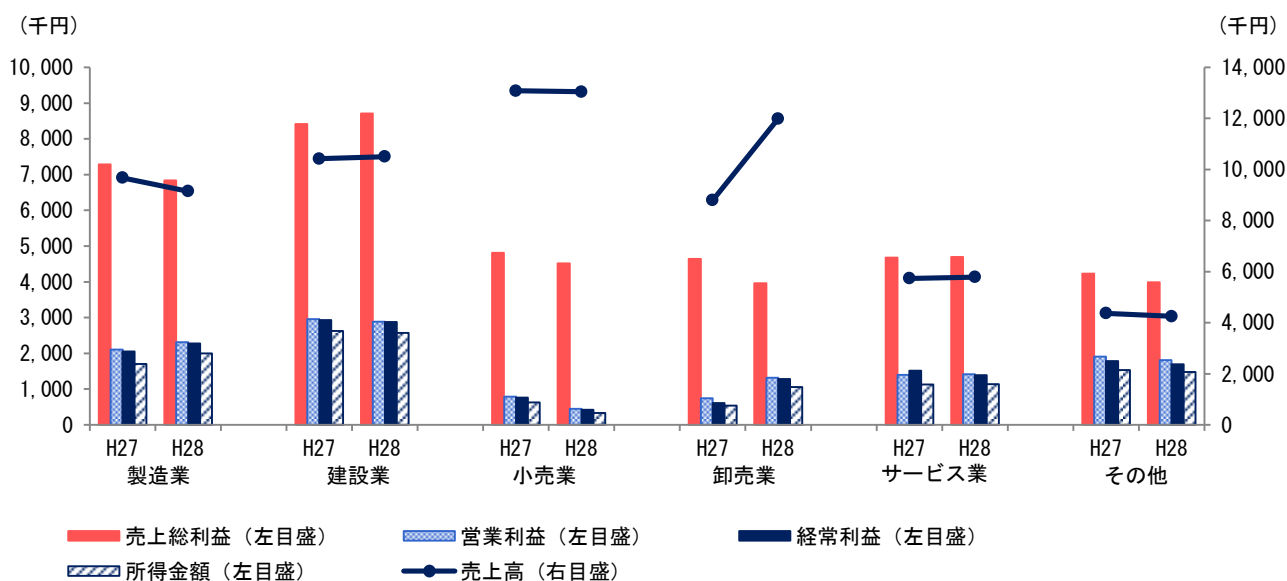
商工会別にみると、製造業の在庫額はすべての商工会において減少している。建設業は広島安芸商工会、広島東商工会では増加しているが、府中町商工会では減少している。小売業は広島安芸商工会では増加しているが、広島東商工会では減少している。卸売業は広島安芸商工会が大きく減少している。サービス業は広島東商工会が大きく増加している。3商工会を比較すると、製造業は府中町商工会の在庫額が低く、建設業は広島東商工会が、卸売業は広島安芸商工会が高い。

第3章 景況調査との比較分析

安芸地域全産業の財務データ分析をみると、売上高はわずかに増加しているが経常利益は減少している。景況調査における景況感をみても、今期売上額 DI 値が前期と比べマイナス幅が拡大し、採算（経常利益）DI 値は前期比でわずかにマイナス幅が縮小している。このように、国内の景気は緩やかに回復しているといわれるものの地域内の景気回復の実感は乏しい。事業の発展を目指すためには、売上高の伸び悩みの改善や粗利率向上のための取組が必要である。

また、景況調査では経営上の問題点として、従業員の確保難との意見が多く挙がっており、財務データでも従業員数の平均は平成 27 年度 0.8 人、平成 28 年度 0.7 人となっている。総務省及び経済産業省の「平成 26 年経済センサス - 基礎調査」と比べると、小規模企業常用雇用者の 1 企業あたり平均は全国、広島県ともに 1.8 人となっており、安芸地域の従業員数はそれを下回っている。今後も労働力人口の減少による人手不足で従業員の確保難は一段と深刻になるおそれがあり、従業員確保への早急な対応が必要である。

【図表 売上高と利益の状況（業種別）】



【図表 売上高・経常利益・従業員数の状況（業種別）】

業種	年度	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他
売上高 (千円)	H27	9,675	10,420	13,079	8,796	5,735	4,371
	H28	9,145	10,502	13,046	11,992	5,789	4,249
経常利益 (千円)	H27	2,052	2,934	764	607	1,511	1,780
	H28	2,272	2,876	420	1,282	1,387	1,694
従業員数 (人)	H27	0.9	1.1	0.9	0.4	1.0	0.2
	H28	0.8	0.7	1.1	0.5	0.9	0.2